

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮市樋ノ口町二丁目PJ	階数	地上5F
建設地	兵庫県西宮市樋ノ口町二丁目246番	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年02月 予定	評価の実施日	2022年12月10日
敷地面積	1,257㎡	作成者	松永康宏
建築面積	691㎡	確認日	2022年12月17日
延床面積	2,847㎡	確認者	山本 晃嘉



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 93%  
③上記+②以外の 93%  
④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 開口部遮音性能:T-2以上。そして、[昼光率]≥2.0%。また、自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> BPIm=0.76。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が93%。
<b>Q2 サービス性能</b> 病室10㎡以上。そして、給水VP(B)、排水VP(B)、FDP(B)、給湯SUS(C)、Eは不使用。また、0.1≤[壁長さ比率]<0.3。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。そして、LGS使用している。また、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される